

各位

会社名 株式会社インソース
代表者名 代表取締役 執行役員社長 舟橋 孝之
(コード番号: 6200 東証プライム)

**「インソースグループ統合報告書 2022」発行のお知らせ
～人的資本経営対応を始めとした、今後の成長戦略について解説**

「教育」と「IT」の力で組織の課題解決を支援する株式会社インソース(東京本部:東京都荒川区、代表取締役執行役員社長:舟橋孝之、証券コード:6200、以下「当社」)はこの度、統合報告書「インソースグループ統合報告書 2022(全 101 ページ)」を発行しましたのでお知らせします。なお英語版は7月中旬に発行予定です。

2回目の統合報告書発表となる今回は、ここ数年で急激に注目が高まっている「人的資本経営」に対応したサービスの開発と販促の強化をはじめ、ITサービス事業の成長方針、DX 教育、地方創生など新成長分野の成長方針など、今後の持続的な成長についての内容を充実させました。また、投資家からの注目度の高い ESG についても、環境への配慮や人的資本の向上を中心に、数値の情報量を増加し、当社の取り組みをご紹介します。

本冊子を通じて、ステークホルダーの皆さまとの対話の強化を目指します。そして、企業理念である「あらゆる人が『働く楽しさ・喜び』を実感できる社会をつくる」の実現に向けて、スピード感をもって企業活動に邁進するとともに、積極的な IR 活動を行い、長期的な企業価値の向上に努めてまいります。



・インソースグループ統合報告書 2022(2022年9月期) <全文 PDF>
<https://www.insource.co.jp/resource/pdf/ir/integratedreport2022.pdf>

<インソースグループ統合報告書 2022 の主な内容>

1. はじめに

企業理念や「当社が目指す経営」をご紹介しますとともに、近年注目が集まる「人的資本経営」について解説しています。当社が調査した 450 社 4,424 項目の人的資本開示指標をもとに、日本企業が抱える課題と、課題に対応した当社の提供サービスについてお伝えします。

企業理念 あらゆる人が「働く楽しさ・喜び」を
実感できる社会をつくる

インソースが目指す経営～走り続け創進すること

「確実化の軌、顧客ニーズに応えながら進化し続ける」

経営方針

社名に込めたい思い

人的資本経営の進め方
～日本企業における現状と課題

450 社 4,424 項目の統合報告書分析結果から見る日本企業全体の課題

人的資本経営とは何か

2. トップメッセージ -ステークホルダーのみなさまへ

当社代表の舟橋が、今後の持続的な成長に向けた取り組みや、当社独自の強み、今後の中・長期的な目標について語っています。また、当社が積極的に開示している KPI(業績指標)は何を意味するのかについてもご説明しています。

3. インソースの価値創造 -成長を支えてきた当社の基盤

創業から 20 年連続増収(コロナ禍の 20 年 9 月期を除く)を続けてきた当社の事業のあらしや、価値創造プロセス、経営基盤である 3 つの力、カルチャーの特徴等についてご紹介しています。

4. 持続的な成長に向けて -今後の成長戦略

持続的な成長に向けて、中期経営計画、営業戦略や財務方針を語っています。加えて、IT サービスや、DX、地方創生などの新成長分野(ライジング・ネクスト)の今後の取り組みについても解説しています。さらに、ESG(環境への配慮、人的資本の向上・社会との共創、コーポレートガバナンス)の取り組みもご紹介しています。

DX教育事業の成長戦略

人的資本経営、リスクリテラシーへの関心を深め、2025 年 9 月期には 15 億円以上の売上を目指す

DX人材社内で育成できる

環境への配慮

ESG への取り組み

環境への配慮

5. 現在の事業活動

現在の事業活動について、非財務情報を含めた KPI の推移とともに現状の課題や直近のトピックスをご紹介します。

6. データセクション

役員一覧や連結財務データ、株式情報などを掲載しています。

当社は今後も、積極的な情報開示に努めてまいります。

以 上

【お問合せ先】株式会社インソース <https://www.insource.co.jp/index.html>
(取材・広報・統合報告書の 社長室 (井上・石渡) TEL:03-5577-2283
内容に関して)